

(別記)

豊郷町農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、全耕地面積に占める主食用米面積の割合が約 69 パーセントで、他作物においては小麦、大豆、加工用米、備蓄米の面積が多く、土地利用型作物の担い手への集積が進んでいる。

しかしながら、主食用米の需要が減少する中で、他作物への転換を促進することで、水田面積の維持を図っていく必要がある。

また、農家の高齢化が進んでおり、不作付地の拡大が進んでいる。こうした中で、水稲作付面積の維持や新規就農者の育成が課題となっている。

2 作物ごとの取組方針等

適地適作を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持・拡大を図る。

(1) 主食用米

売れる米作りの徹底により米の主産地としての地位を確保する。前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ、米の生産を行う。

(2) 非主食用米

ア 加工用米

水田の有効活用を促進するため産地交付金を活用しつつ、実需者との結びつきによる加工用米の生産拡大を図る。

イ 飼料用米、米粉用米、新市場開拓用米、WCS 用稲及び備蓄米

水田の有効活用を促進するため、上記非主食用米の生産拡大を目指す。

(3) 麦、大豆、飼料作物

麦・大豆づくりについては、現在実施しているブロックローテーションによる団地化や担い手への土地利用集積等を今後も推進するとともに、栽培技術の研究を更に行い、売れる高品質麦・大豆の生産を図る。

(4) そば、なたね

地場流通を主体にした需要に応じた生産を行う。

(5) 高収益作物（野菜等）

環境こだわりの認証を受けた作物等（野菜、花卉、果樹）を振興品目として拡大する。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	260.0	251	251
飼料用米	6.0	8.0	10.0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS 用稲	0	0	0
加工用米	2.5	3.5	4.0
備蓄米	0.2	0.2	0.2
麦	101.0	101.0	102.0
大豆	95.0	99.0	104.0
飼料作物	0	0	0
そば	0	0	0
なたね	0	0	0
その他地域振興作物	13.6	13.8	14.0
・野菜	8.6	8.7	8.8
・花卉	4.8	4.9	5.0
・果樹	0.2	0.2	0.2

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	現状値	目標値
				(平成 29 年度)	(平成 32 年度)
1	担い手二毛作大豆	二毛作大豆助成	作付面積の拡大	93.8ha	95.0ha
2	加工用米(基幹作物)	加工用米(基幹作物) 助成	作付面積の拡大	2.5ha	4.0ha
3	環境こだわり野菜、 花卉(基幹作物)	環境こだわり野菜、花 卉(基幹作物)助成	作付面積の拡大	1.0ha	1.3ha
4	園芸作物(基幹作物)	園芸作物助成	作付面積の拡大	0.6ha	0.7ha
5	施設野菜・花卉	施設野菜(基幹作物) 花卉(基幹作物)助成	作付面積の拡大	1.0ha	1.3ha
6	園芸作物(二毛作)	園芸作物助成	作付面積の拡大	1.4ha	1.5ha

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり